

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	中山地域公民館活動事業	会計名称	一般会計		担当課	社会教育課	
		予算科目	10 款 5 項 2 目	事業番号	4720-2	所属長名	泉一人
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	宮田哲二	
法令根拠等	社会教育法、伊予市公民館設置条例				実施期間	【開始】	令和/平成 23 年度
総合計画での位置付け	生涯学習都市の創造 生涯にわたり学習できる環境づくり					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	企画段階からの市民参加を図りながら、各種講座や事業を展開することで、住民自治意識の向上を図るとともに、生涯学習・活動の場づくりを行う。						
事業の対象	市民			事業の目的	住民自治能力の向上を目指して、市民の仲間づくり、健康増進、生きがいがづくりに寄与する。		
事業の内容 (整備内容)	各種講座や事業の開催、社会教育関係団体との連携、地域・家庭・学校等とのコーディネートを行う。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	コロナ禍により今年度も事業の一部中止や縮小、人数を制限しての活動となることが予想されるが、住民主体で協議検討し、前例踏襲によらず事業内容等に創意工夫を加えながら、4支館それぞれの特色ある活動を積極的に展開していく。館長・主事は、住民の生涯学習意欲向上、青少年健全育成、また、スポーツ振興という目標への手助けをしていく。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績
直接事業費	547	2,313	△ 807	0	0	295	生涯学習講座	回	2	7	0	4
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0	高齢者学級	回	0	6	0	2
一般財源	547	2,313	△ 807	0	0	295						
職員の人工(にんく)数	0.80	1.02				1.02	青少年健全育成(わんぱく塾)	回	37	33	5	15
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841						
※ 直接事業費+人件費	6,797	10,311				8,293						
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)				コミュニティ事業	回	8	21	2	8
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年間の合計		
					2,694	2,600	2,600	2,500	2,500	12,894		
成果指標	指標	活動回数	単位	⇒	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標	毎年度		
			回		目標	77	67	60	-			
	指標設定の考え方	公民館が核となって事業や生涯学習活動を展開しながら、コーディネート役として、住民や組織が主役の活動を推進する。			実績	47	29	-				
	指標で表せない効果											

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		上半期はコロナ禍の影響をまともに受け、盆踊り、スポーツ大会のほとんどが中止、また、総会は書面議決による議決となり、公民館活動がほぼ停止しているような現状である。ただ、集まる人数を制限しながら、万全の感染対策をとりながら、出来得る限りの会合及び事業は実施することができた。下半期の公民館事業実施に向けた方策を住民主体で検討している。									
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点	下半期において、住民の安全安心を第一に万全の感染対策をとって、役員を中心に協議を重ね、前例踏襲にとらわれることなく、時期や実施方策の見直しをしながら、各種講座・教室、佐礼谷運動会、世代間交流、少年教室、どんど焼き等、住民と共に考え、汗を流しながら公民館活動を展開することができた。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の関与しない、民間や市民団体等に委ねるべきである。	3						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D		A		事業の苦勞した点・課題	例年とは違った時期・やり方・内容により公民館事業を実施したが、各種講座や行事への参加者の減少はコロナ禍という事情があるにせよ反省材料となった。各種講座や事業参加者の固定化という近年の課題も克服出来ない状況である。再度、事業の見直しを図り、魅力があり住民全員が参加したくなる、また、あらゆる世代が積極的に参画していただく公民館活動を検討していく必要がある。
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	4						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A					
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4							
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 生涯学習活動の場として、地域に根ざした活動を継続する必要がある。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。	4						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A					
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	4							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A		所屬長の課題認識	地域の特色にあった公民館活動を推進する。前例踏襲によらず、工夫を凝らした事業展開を図る。			
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4								
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		■	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 【行政評価委員会委員選定事業】	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。			
<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。			

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画段階から市民参加を図りながら、住民自治意識の向上を図るという観点はすばらしい。全域に広げてもらいたい。 ・地域の祭りや伝統行事、地域全体の行事を実施するのは、公民館が核にならないと難しい。前例踏襲と思われるかもしれないが、それもやはり必要なものである。引き続き、地域に根ざした活動を展開してもらいたい。 ・成果指標は開催回数ではなく、公民館活動に参加した人の声などを採用し、魅力的な活動かどうか判断すべきである。 ・どこかの公民館が結節点となって、ノウハウ等を情報共有すれば、伊予市全体の盛り上がりに繋がるだろう。 ・公民館活動だけでなく、社会教育自体が見向きされない状況である。社会教育の閉塞感や停滞感、マイナスイメージを払拭する手立てが必要である。これまでの社会教育から脱却し、新しいサービスを提供することが求められている。
------------	------	---

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄 公民館同士が横連携し、市民の興味を惹きつけるような事業の展開を検討すること。
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	■	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	